

学年	2	科目 分類	プログラミング入門	演習	後期	学習教育目 標	担当	牛丸 真司 USHIMARU Shinji 出川 智啓 DEGAWA Tomohiro
学科	D		Introduction to Programming	必修	1履修単位	2		
概 要	<p>はじめに、C G I 言語の一つとして広く使われているPerlによるプログラミング学習を行い、変数、制御構造などプログラミングに必要な基本的事項を理解する。後半では、演習を通してC言語の基礎概念の理解と初歩的なプログラミング技術を習得する。</p> <p>PCでの演習を併用し、実践的な応用力を身に付ける。</p> <p>授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>(1) プログラミング言語の分類 (2) Perlのプログラミング技法 (3) C言語のプログラミング書式 (4) コンソールと入出力：scanf, printf, アスキーコード (5) 制御構造：if else文, for文, while文など (6) 配列：配列の宣言と初期化およびデータ入力</p>							
教科書 器材等	<p>Perlに関するプリント 「入門ソフトウェアシリーズ1 C言語」河西 朝雄 著 (ナツメ社)</p>							
評価の基準と 方法	<p>後期中間試験30%、後期期末試験30%、課題レポート40%として評価する。 60%以上を合格とする。</p>							
関連科目	<p>情報処理基礎</p>							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	プログラミング言語について						
第2回		Perl入門1：変数、配列、標準出力						
第3回		Perl入門2：制御構造1 (if, while)						
第4回		Perl入門3：制御構造2 (for, foreach)						
第5回		Perl入門4：標準入力、ファイル入出力						
第6回		Perl入門5：文字処理、正規表現						
第7回		Perl 入門6：関数定義						
第8回		× 前期中間試験						
第9回		Cの基本的なきまり：C言語の歴史、Cプログラミングの基本書式、コンパイル方法						
第10回		コンソールとの入出力1：データ型と変数の型宣言、画面への整数型データの出力						
第11回		コンソールとの入出力2：画面への実数型データ出力、キーボードからのデータ入力						
第12回		制御構造1：制御構造と構造化プログラミング、条件判断 (if else文、else if文)、 関係演算子と論理演算子						
第13回		制御構造2：繰り返し (for文、while文)						
第14回		制御構造3：EOF、繰り返し (do while文)、多分岐処理 (switch case文)						
第15回		配列：配列の宣言、配列データの初期化、配列へのデータ						
第16回		× 前期末試験 試験の返却および解説、授業アンケート						
オフィスアワー	<p>授業実施日の15:00～17:00、試験の前1週間は曜日を問わない。</p>							
授業アンケート への対応	<p>課題を期限内に提出できない学生には、個別に質問へ対応するようにしたい。</p>							
備 考	<p>授業に関する質問は、degawa@numazu-ct.ac.jpへのメールでも受け付ける。</p>							
更新履歴	<p>20130325 新規</p>							